

八戸駅周辺駐車場等の利用実態調査結果について

1. 調査箇所（10箇所）

（1）長時間駐車場（民間）

- ・東口3箇所（708台）
- ・西口4箇所（454台）
- 計7箇所（1,162台）

（2）送迎用駐車場（市営）

- ・東口広場1箇所（15台）
- ・西口広場1箇所（40台）
- 計2箇所（55台）

（3）東口広場乗降場

- 計1箇所（5台）

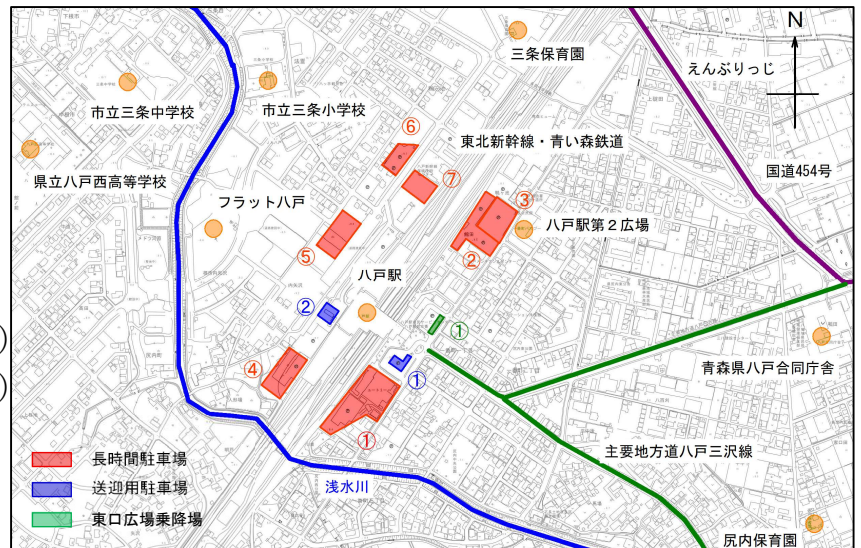


図-1 調査箇所

2. 調査日及び調査方法

（1）調査日

① 駐車需要が低いと考えられる平日

調査日：10月10日（金）

② 駐車需要が高いと考えられる3連休の土日

調査日：9月13日（土）、14日（日）の2日間

補足：9月13日（土）～15日（月・祝）が3連休

③ 駐車需要が特に高いと考えられるイベントが重なる3連休の土日

調査日：10月11日（土）、12日（日）の2日間

補足：10月11日（土）～13日（月・祝）が3連休

（両日フラット八戸でフリーブレイズの試合開催）

（2）調査方法

- ・平日の10月10日（金）については、市職員が計測
- ・土日の4日間については、7時～19時まで低速度カメラを設置し撮影

3. 調査結果

（1）長時間駐車場の利用実態

① 平日の状況（駐車需要が少ない日）

- ・駐車できないという状況は生じなかった。

② 9月13日の状況（駐車需要が高い日）

- ・13日（土）は早朝から正午にかけて利用者が増加し、13時から15時までの2時間は駐車場が全て満車となり、その後は徐々に解消。（ピーク需要推計台数1,270台で、収容台数に対して108台の不足）

③9月14日、10月11日、12日の状況（駐車需要が特に高い日）

- ・9月14日（日）は市内外でイベントが多数あったことから、駐車場需要が特に高い日に区分することとした。当日は早朝から駐車需要が高く、9時から15時頃までの約6時間にわたり満車状態が継続。（ピーク需要推計台数1,370台で、収容台数に対して208台の不足）
- ・10月11日（土）と12日（日）は早朝から駐車需要が高く、9時から16時頃まで約7時間にわたり、満車状態が継続。（ピーク需要推計台数約1,380台で、収容台数に対して218台の不足）

（2）送迎用駐車場の利用実態

①東口駐車場の状況

- ・平日・休日とも新幹線発着時間帯で満車と利用率が高い。

②西口駐車場の状況

- ・平日は、新幹線発着時間帯の利用率は6割程度と余裕がある。
- ・休日は、周辺駐車場の満車に伴い、10時頃から夕方まで満車となる時間帯が増加しており、特にフリーレイズの試合初日と重なった10月11日（土）は満車時間が8時間続いた。

（3）東口広場乗降場の利用実態

- ・平日、休日とも、新幹線発着時間帯に混雑が続いた。

4. 調査結果の分析と今後の対応

（1）長時間駐車場

- ・実態調査調査日以降、駅西口の民間駐車場において、増設や新設により駐車可能台数が166台増加し、1,328台となった。（1,162台→1,328台）
- ・増加後の駐車可能台数で検証を行った結果、イベントと重ならない通常の土日の満車時では駐車可能台数に収まること、また、イベント等と重なる場合にも、駐車困難時間が3時間程度と大幅に緩和されることが推計された。
- ・さらなる駐車場を整備しようとした場合には、需要が高い日や時間帯以外には利用されない可能性が高いことも予測された。
- ・これらの結果を踏まえると、イベントと重なった土日に駐車可能台数を超過することになることから、今後は、イベント主催者による駐車場確保などの駐車場対策を徹底するとともに、混雑状況の周知や公共交通利用の呼びかけなどの「ソフト対策」を中心に取り組んでいくこととする。

（2）送迎用駐車場

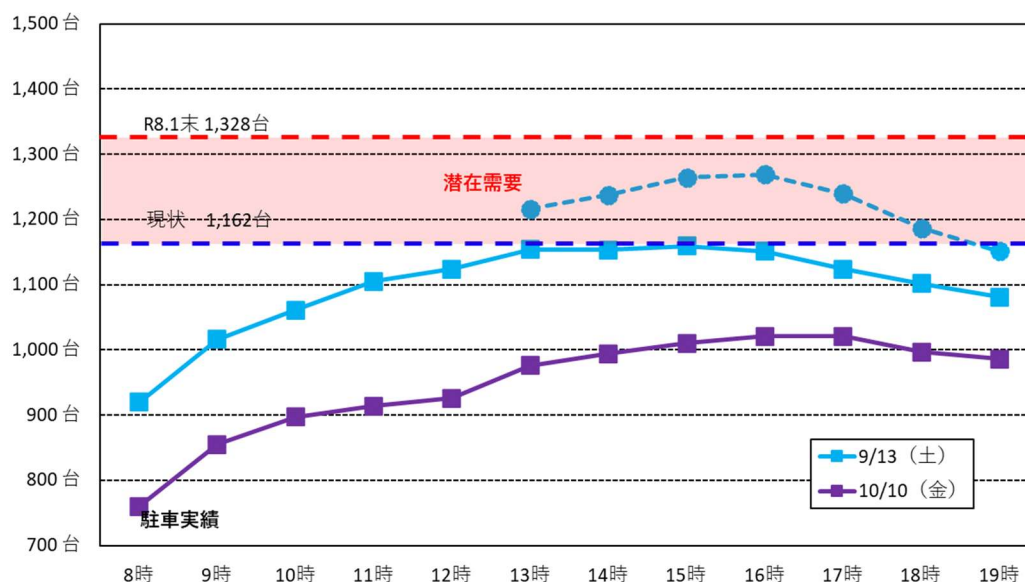
- ・西口広場駐車場については、周辺の民間駐車場が整備されたことで余裕が見込まれるため、長時間利用者の周辺駐車場への案内などを積極的に行うとともに、送迎のための短時間利用の促進を図っていく。

（3）東口広場乗降場

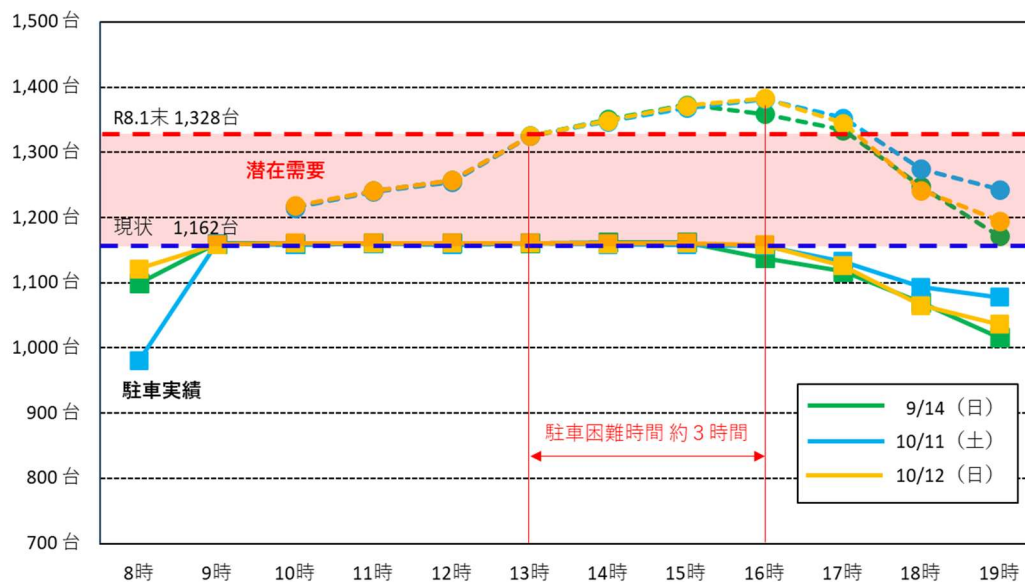
- ・東口駐車場廃止に伴う送迎需要への対応については、広場内に代替スペースを確保することとし、案内誘導とあわせて、実施設計において検討していく。

5. 東口広場整備の今後の予定

| | |
|-----------|------------------|
| 令和 8 年度 | 実施設計 |
| 令和 9 年度以降 | 順次工事を実施（3 か年を想定） |



図一 長時間駐車場の駐車実態及び潜在需要(イベント開催のない通常時)



図二 長時間駐車場の駐車実態及び潜在需要(イベント開催時)